

淡島雅吉のアトリエ

ガラスの「かたち」を求めて



2023 令和5年 3.25^{SAT} - 6.25^{SUN}



杉並区立郷土博物館 **分館**
Suginami Historical Museum

杉並区天沼3-23-1 (天沼弁天池公園内)
JR・東京メトロ丸ノ内線「荻窪」駅北口から徒歩10分

[会 場] 杉並区立郷土博物館分館 西棟2階展示室
[開館時間] 午前9時～午後5時
[観 覧 料] 無料
[休 館 日] 毎週月曜日・毎月第3木曜日
(祝日の場合は翌日が休館日)
[問 合 せ] ☎03-5347-9801



淡島雅吉のアトリエ

ガラスの「かたち」を求めて



「しづくガラス」の創案者として知られる、日本を代表するガラス工芸家で、商業デザインの分野でも活躍した淡島雅吉（1913-1979）は、^{あわしままさきち}杉並区和泉に住みアトリエも設けていました。

杉並に暮らし、杉並で作品を生み出してきたそのご縁から、令和2年（2020）に淡島家より、ガラス作品を含む多数の淡島雅吉関連資料が、郷土博物館に寄贈されました。

今回の企画展は、その貴重な資料を皆様にご覧いただくため企画したものです。水を入れると美しく輝く「しづくガラス」をはじめとして、いくつもの斬新な作品が生み出された、アトリエ設立後の杉並での活動に焦点を当てています。

淡島は常々「ガラスにはガラスの『かたち』がある」という言葉を口にしていました。アトリエに残された資料の数々を通じて、淡島が追い求めたガラスの「かたち」を探っていきます。



オモテ:しづくガラス花器(昭和41年頃) 1:型を作る淡島(昭和30年頃) 2:しづくガラス鉢(昭和43年頃) 3:ピトモール花器(昭和41年頃) 4:しづくガラス角型鉢(制作年不詳) 作品撮影:傍島利浩

学芸員による
展示解説

●4月8日(土)・5月6日(土)・6月3日(土)

●午後2時～2時30分(事前申し込み不要) ●郷土博物館分館 西棟2階展示室

【会場】 杉並区立郷土博物館分館 西棟2階展示室
杉並区天沼3-23-1(天沼弁天池公園内)
JR・東京メトロ丸ノ内線「荻窪」駅北口から徒歩10分
※車での来館はご遠慮ください。

【開館時間】 午前9時～午後5時

【観覧料】 無料

【休館日】 毎週月曜日・毎月第3木曜日(祝日の場合は翌日が休館日)

【問い合わせ】 杉並区立郷土博物館分館 ☎03-5347-9801

【ホームページ】 <https://www.city.suginami.tokyo.jp/histmus/>

 **杉並区立郷土博物館** **分館**
Sugunami Historical Museum

